

活動名 戸河内小学校夢配達人プロジェクト 手作り間伐材鉛筆・遊具づくり	団体名	戸河内小学校夢配達人プロジェクト 実行委員会
	地域	広島県山県郡
	代表者	実行委員長 山本 慎一
	支援金額	30万円
活動概要		
<p>平成 24 年度夢配達人プロジェクト(主催;公益社団法人 青少年育成広島県民会議)に本町児童の「地域の人と一緒に山に入り間伐をし、手伝ってもらって、鉛筆や遊具をつくりたい」という“夢”が採択された。児童が在籍する戸河内小学校を中心として「戸河内小学校夢配達人プロジェクト実行委員会」を立ち上げ、地元の間伐材を利用した手作りの鉛筆作りや木工遊具の製作に向けて、児童、保護者及び地域が一体となって“夢”実現に向けて取り組んだ。</p> <p>平成 26 年 3 月 4 日に手づくり鉛筆の完成報告会を開催。当日は、お世話になった夢配達人の方々や地域のみなさんにこれまでの取組みを発表し、完成した鉛筆を披露した。完成した鉛筆 2,000 本のうち 400 本は、東日本大震災で被災した宮城県亶理郡山元町立坂元小学校へ戸河内小児童のメッセージを添えて贈った。</p> <p>◆実施時期 H25.6.4 間伐材伐採(安芸太田町内), H25.6.27 出前講座(戸河内小学校) H25.11.26 鉛筆板製材(河本組) H25.12.17 鉛筆製作①H26.1.31 鉛筆製作(戸河内小学校), ②H26.3.4 完成報告会(戸河内小学校)</p> <p>◆参加人数 H25.6.4 30名(5・6年生), H25.6.27 80名(全児童 68, 地域・保護者 12) H25.11.26 30名(5・6年生), H25.12.17 79名(全児童 67, 地域・保護者 12) H26.1.31 82名(全児童 67, 地域・保護者 15) H26.3.4 75名(全児童 65, 地域・保護者 10)</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:376名</p>		



ヒノキを 15 本伐採



北星鉛筆株式会社「鉛筆の秘密」講演会



完成報告会



鉛筆板の木型をはずして、芯を入れ木工ボンドで接着

◆実施に伴う効果

- ・間伐材を使って鉛筆を作るといった子どもの発想が、地場産業の見直しにつながるきっかけとなった。特に本町が推進している「森林セラピー」や町観光協会「道の駅」等への商品化に向けて、今後、事務レベルで協議される予定。
- ・一つの“夢”の実現に向けて学校や保護者や地域と一緒に製作したことで、学校と保護者・地域や各サークル(女性会, 郷土史研究会 等)との連携がより一層、強まった。
- ・東日本大震災で被災した学校へ手作り鉛筆を送付することをきっかけに、子どもたちは「つながり」や「きずな」といったことの大切さを学ぶことができた。

◆苦労した点

- ・学校と地域や各サークル(女性会, 郷土史研究会 等)との日程調整。
- ・間伐材伐採からスタートした事業だが、手づくり鉛筆に関する資料やノウハウがほとんどなかった。まずは、鉛筆製作工程(=マニュアル)づくりから検討を行なったが、様々なところへ問い合わせることの連続だった。そこで、東京にある鉛筆メーカーのアドバイスや協力をいただき、地元企業と試作品を何度も作りながら、ようやく子どもたちによる手作り鉛筆が完成した。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・今回、この事業について、独自の鉛筆製作工程(=マニュアル)を作り上げたが、単年だけで完了するといった一過性にするのは残念であることから、事業の継続性について実行委員会内で数回ほど協議を実施。協議結果として、「実行委員会での事業は今年度で終了するが、今後は学校事業として展開する」という結論となった。
⇒今年度は「黒」と「赤」の2色を製作。今後は「7色=虹色」が完成できるまで継続予定。
- ・また、完成した鉛筆を東日本大震災で被災した学校へ送付したが、今後も継続していく予定。そして先日、相手校から感謝状も届きこの事業をきっかけに今後も両校の新たな交流に大きな期待ができる。
- ・だが、この事業の継続性を考えた場合、予算確保が急務である。ボランティア活動にも限界があり、また、子どもたちへの経費負担軽減を考えた場合、今後も各種助成金をお願いしていく必要がある。

◆活動を終えての感想・意見等

- ・1年に渡る支援をいただき、“夢”実現ができたことに感謝申し上げます。
- ・この事業の目的でもある、「過疎化が進む地域において間伐材を通じ地場産業等を学びそして郷土愛を育む」といった学習活動に広がりを見せることができました。
- ・また、この事業をきっかけに東日本大震災で被災した小学校児童とのつながりや連帯感を持つことができました。
- ・今後もこの事業が継続できるように頑張っていきたいです。